

# えほんのおへや通信



サンガこども園

2012年5月1日(火)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

春のさわやかな風を受けて草原に咲いているタンポポ、一年に何度か咲くタンポポ。踏まれても踏まれても優しい花を咲かせます。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」4月号の紹介。**

## こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

### 「のりたいな」

みやまつともみ作

町で見かける「はたらく車」がたくさん登場します。路線バス、郵便車、ゴミ収集車、宅配車、パトロールカー、ミキサー車、キャリアカー、消防車、ダンプカー、コミュニティバス、移動販売車。



## こどものとも 年少版

2～4歳向き

### 「ぼくのくつした」

村田エミコ作

しましまのくつしたが大好きな男の子。片方ないことに気づき、家中を探しまわります。テーブルの下や台所、男の子は無事、しましまくつしたを見つけることができるのでしょうか？



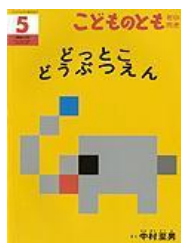
## こどものとも 年中向き

4～5歳向き

### 「どっとこ どうぶつえん」

中村至男作

ちょっと変わった動物園、なんと、そこでは動物たちの体が四角でできています。そんな不思議な「どっとこ動物」たちが子どもたちを待っています。さあ、門をくぐって、進みましょう。どんな動物が見えてくるかな？



## こどものとも

5～6歳向き

### 「せいそうせんの くりんまる」

鎌田歩作

「くりんまる」は清掃船です。毎日、海に浮かんだゴミを集めて、港をきれいにしています。働きものの「くりんまる」は、朝から仕事にでかけます。「くりんまる」がていねいに掃除をしながら進んでいくと嵐がやってきて…



## ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

### 「げんきな かみ」

たにうちつねお作 / いちかわかつひろ写真

ぎゅっとならぶと「びゅーん」と飛んだり、指に巻きつけると「しゅるるっ」と回ったり、ギザギザにおると「びょーん」と跳ねたり…紙といっしょにあそぶ絵本です。



## 他にこんな絵本も購入しました。

### 「なぞなぞのみせ」

石津 ちひろ【なぞなぞ】 / なかざわ くみこ【絵】

5歳から

お店をめぐるお買い物をするように、なぞなぞが楽しめる絵本です。すみからすみまで、見れば見るほど楽しさがいっぱいみつかります。どこかなつかしいような、おしゃべりしながらたのしくお買い物できそうな商店街が描かれています。



偕成社

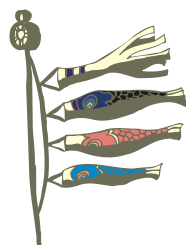
(年齢は目安です。)

## 【雑感】

5月5日は「端午の節句」といって男の子の健全な成長を祝う日でしたが、1948年に定められた国民の祝日法によって「こどもの日」となりました。

当初は、桃の節句の3月3日や、学年が始まる4月1日という案が出ていたようですが、3月3日では北海道などではまだ寒すぎ、4月1日はエイプリルフールと重なってしまうという理由で却下されたようです。

こどもは、7歳までは神様の預かりものとされていましたので、神仏への「お供え物」などの「そなえ」「供する」という意味の「供」を使用し、「子供」と書きます。しかし、「供」という漢字は「大人の手下」という感じがするという声が上がったためひらがな表記にしたそうです。



## なぞなぞの始め

日本で最初になぞなぞを始めたと言われるのは、嵯峨天皇の『子子子子子子子子子子』を読めと言われていた。しかし、それ以前からも古くから上流階級の間で和歌などを題材とした一種の言葉遊び(パズル)のような形式のなぞなぞが作られていたそうです。

